



# ICSO国際青少年文化交流支援機構

International young people cultural exchange support organization



banago slum地区(スラム街)にて…。

## 武道精神を海外の青少年育成に。

### 今も昔も変わらない 日本の青少年の持つ不屈の精神。

昔の人に聞くといつの時代も「最近の若い者は…」とは言っていたようです。

さて、では本当に「最近の若い者はXX」なのでしょうか…。確かに最近の若者の生活には霸気がなく、親のすねを平気でかじるだけかじり、拳句の果てには身も凍るような事件までもが多発しています。しかし、かたや東北の大震災では数え切れぬほどの若者たちが被災地で、慣れないながらも懸命に献身している姿があるのも事実です。日本の若者もやる時にはやるのです。

これは日本独特の素晴らしい文化風習を受け継いできたDNAがそうさせるのでしょう。

### 将来の日本を担う、強い精神を持った 青少年の育成にはあなたの力が必要です。

私が携わっている空手道場の若者たちにも、すばらしい青少年が多々います。彼らはそのDNAに更に武道教育と訓練を受けて、博愛の精神と不屈の精神を養ってきました。

そんな彼らが更なる実践経験を学び、その持てる力を存分に發揮できるフィールドがこの「ICSO国際青少年文化交流支援機構」なのです。

どうか皆様、明日の日本を背負って立つであろう彼ら若者に、そして各国の貧しき青少年たちに1日食パン1個分のご援助をお願い申し上げます。

ICSO 国際青少年文化交流支援機構 代表理事

特定非営利活動法人  
日本実践空手道協会 実践会館／宗師

川内 錄 召



明日の日本を背負って立つ  
日本国若き研修生たち



本人の努力だけでは貧困から抜け出せない現実がある



## 日本固有の博愛の精神を伝え 世界の青少年とともに学び合う。

### フィリピンの子供たちの厳しい現状。

フィリピンの総人口は約8,800万人です。そのうち、貧困層ラインにある人々は2,700万人、人口の約30%をも占めます。

貧困ラインとは、平均的な5人家族の場合、年間57,290ペソ(約15万円)月平均12,500円の人々を云いますが、更にそれ以下の、食糧貧困層と呼ばれる人々は1,200万人もあり、総人口の13%を占めます。食糧貧困層においては年間収入が約10万円、月平均8,400円くらいです。お米が30kgで約2,000円ですから、その厳しさがよくわかります。

この家庭の子供たちは食べることが精いっぱい、とても学校に行ける状況ではありません。貧困は更なる貧困を生んでまさに負の連鎖となって、彼らを更に苦しめています。

### 奉仕活動を行いながら 同時に英会話を学んでゆきます。

ICSOはフィリピンを拠点として若い道場生たちが指導員として派遣され、奉仕活動を行いながら、同時に英会話を学びます。この語学留学は1年～2年間を区切りとしています。彼らは現地での奉仕活動を担保に、一切の生活費・学費は免除されます。

この奉仕活動につきましては、フィリピンの子供たちの食事や生活・保健衛生などのサポート、日本の挨拶礼儀作法・日本語レッスン・空手その他スポーツの指導、文化活動のサポートなどが主な内容です。

特に武道精神の要である「尊敬の心・感謝の心・謙虚の心・忍耐の心・奉仕の心・慈悲の心」を「Son/Kan/Ken/Nin/Hou/Ji」Jissen-Rokusinと称し、日本固有の博愛の精神に触れてもらい、日本の青少年たちと共に実践しながら学びます。

また毎年、夏休みや冬休みを利用して1週間程度の短期

体験留学(年1回のみ)も行います。これは現地での奉仕活動を担保に、現地経費(宿泊・食事・英会話レッスン・現地移動経費)はすべてICSOが負担します。

注)渡航飛行機代金と、保険料金の負担は個人持ちとなります。(特待生制度あり)

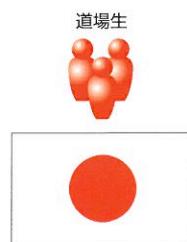
日本の青少年たちにとってこれらは、充実した体験となることでしょう。



2013年の4月に私たちは  
フィリピンネグロス島バコ  
ロドシティ及びバゴーシティ  
にNPO日本実践空手道協会  
実践会館の連携により空手  
道場の支部を開設いたします。



### 青少年文化交流のイメージ



奉仕活動を担保に  
一切の生活費・学費は  
免除されます



奉仕活動・文化活動の  
サポートをしながら  
英語を学びます



たくましく育った人材に

## ビジョン

### 少子化による急激な労働力減少

#### この先に来るであろう国難に対処する。

日本の労働人口は急速に減少していっています。総務省の計算によると、日本の労働力は2030年に1,070万人減となっています。日本の人口は、現在すでに、総人口の20%、5人に1人が、65歳以上。これからの日本は高齢者においても年金受給年齢を上げ、働くを得なくなることは確実です。しかし、そうなっても解決できない問題もあります。それは高齢者には就労困難な一次産業(農業、林業、漁業、鉱業)の労働力や、二次産業(製造業、建設業)などの労働力がそうです。少子化傾向に歯止めがかからない複雑な国状の中、若い労働力がどんどん減少し、国民の生活の根幹であるこれらの業種の労働力不足は、ボディブローのようにじわじわと国力にダメージを与えるに間違ありません。近い将来間違なく、自国民の労働力だけでは国家の財政や国民の生活は支えきれなくなるでしょう。そのためにICSOは若者たちと一緒に、この先にくるであろう国難に対処すべく、今からそれらの問題回避に先手を打つ手段として設立したのです。

## 活動と理念

### 【活動】

ICSOは、海外発展途上国・後・中進国などに日本の武道(空手道)及び挨拶礼儀作法を基礎としたカルチャー教室を無料で開設し、日本の良き伝統の文化風習になじんでもらい、同時にこの事業に参画する相国の青少年たちの健全育成を願い、様々な文化教育交流を図り、生活および教育に関わる支援を行うことによって相国の友好発展に寄与することを目的とします。

### 【ICSOの目指すもの】

ICSOの理念である“博愛”と“武道精神(実践六心)”を基本に、善良なる日本人としての活動を通じて世界中の人々と喜びを分かち合い、そして助け合い、その存在を期待される教育慈善団体になること。

### 【活動理念】

地球的視野に立ち、「博愛と武道精神(実践六心)」を通じて社会に貢献します。

善良なる日本人として各国地域に根付き、社会的責任を果たします。

未来のために心豊かで活力のある人と社会づくりに努めます。

## 目標

### ICSOの第1段階の到達目標

- ①武道精神(尊敬・感謝・謙虚・忍耐・奉仕・慈悲の心)を基軸とした対象国の青少年と日本人の青少年教育を行い、奉仕活動を通して日本固有の博愛精神を身に着けさせる。
- ②相国の文化風習を理解させる。
- ③実際に使える英会話・現地語、対象国の青少年たちは日本語の習熟を行わせる。
- ④日本空手道を体育として活用し、日本武道のファンを拡げる。

### ICSOの第2段階の到達目標

- ①2年を目途に、現地青少年たちの中から、ICSO現地リーダー候補を選出し、以降の現地指導員として働くように援助する。
- ②現地NPO/NGO法人を設立する。
- ③日本開催の空手ワールドカップに代表選手を招へいし、文化交流を図る。
- ④英会話語学留学の授業料無料のスクール及び日本語学校を設立する。
- ⑤次の進出対象国を検討し、支部設立の準備を行う。

### ICSOの第3段階の到達目標

海外の青少年を受け入れ、就労の手伝い・語学留学・空手留学等を行わせ、母国の教育責任者育成を行う。

### ICSOの第4段階の到達目標

海外労働者受け入れの活動に入る。

この活動は必ずや労働力空洞化、日本の再生のきっかけとなることでしょう。



フィリピンのバグ市、ラモン・トーレス市長(右から4番目)  
「全面的に支援を行いますので、一緒に頑張りましょう」と  
全面協力の約束を頂きました。

# 皆様の1日食パン1個分のご支援をお願い致します。

1日食パン1個分、皆様の月々 4,500円のご支援で、教育・保険衛生・生活援助などの継続的援助活動を行い、生活環境の過酷な状況を変え、逆境の子供たちの人生を変えます。そして、この活動は労働力空洞化、日本の再生のきっかけとなることでしょう。  
皆様の応援を宜しくお願いいたします。

(期間は特に定めておりませんが、できれば1年間はご支援をお願い致します。)



## ICSOフェイス・トゥ・フェイス募金のシステム

いわゆる里親制度のようなものです。  
チャイルドより近況報告やお礼等の手紙や写真等が定期的にあなた宛てに届きます。  
お預かりした寄付金は、確実に目に見える形で子供たちに届きます。ICSO フェイス・トゥ・フェイス募金にご登録いただいた方には、あなたが援助しているチャイルドよりICSO を介して、近況報告やお礼等の手紙や写真等があなた宛てに届きます。手紙はICSOにより、手紙の原文と翻訳されたものが一緒に届きます。  
あなたからの返信はスターターキットの規定の便箋と封筒によって、ICSO 事務局から現地語に翻訳され、相手の子供に届きます。手紙を通して、あなた担当の子供たちと交流ができるのです。  
また、誕生日のプレゼントやお菓子などを送ってあげるのも素晴らしいことです。子供たちはどんなに喜ぶことでしょう。



## 募金の流れ

申込書に記入して頂き  
メールかファックスでお送りください。  
申込用紙は ICSO で検索→ダウンロード  
送り先 FAX: 084-948-0797

あなた様のお取引銀行にて月額 4,500円の  
「定額自動送金」のお手続きを  
お願い致します。(手数料等はご負担をお願いします)

お申込み完了通知をメールかファックスで  
ご連絡下さい。

お手続き完了通知書がお手元に届きます。  
お申し込みが完了しましたら、会員バッジ・案内書・スターターキットなどをお送り致します。

## 会員の特典

年間数回組まれる対象国の奉仕活動旅行または、  
視察旅行に同行する場合の滞在費(食事・活動のための  
交通移動費・等)は ICSO が負担致します。(年1回のみ)

催し物等のご案内等が送付されます。

ICSO が主催するコンサート・講演会・展覧会等は  
20%引きになります。(会員ピンバッジを必ず受付にてご提示ください。)

10名様以上ご紹介いただいた会員様には  
「特別会員ゴールド・ピンバッジ」をお渡しします。  
※一般ICSO フェイス・トゥ・フェイス会員の方々は「シルバー・ピンバッジ」です。  
その他にも特典あり。

### ご寄付の種類

#### 募金によるご支援

- ①ICSO フェイス・トゥ・フェイス募金(毎月 4,500円の定額寄付)
- ②ワンコイン募金(毎月 500円の定額寄付)
- ③金額自由フリーのご寄附

#### 物品によるご支援

文具用品／夏物衣類／スポーツ用品／玩具／ビタミン・栄養剤／食料品…等  
詳しくはホームページをご覧ください。

お申し込み方法・詳細等は  
お問い合わせいただくか、Webをご覧ください。



ICSO国際青少年文化交流支援機構

〒721-0913 広島県福山市幕山台 6-14-7

TEL: 084-948-0797 E-mail : icso.japan@gmail.com

ICSO

検索